



神出音頭 歌：河内屋菊水丸

一 ハアー 부는は神戸の奥座敷、神出平野の

真ん中に、雌岡、雄岡の峯二つ、

神代の森にこだまして、神出音頭の歌の声、

たたく太鼓の威勢よき

ソレドントナ、ハア、ドドントナ ドドントナ

二 ハアー わたしや雌岡の 雪割り草

歩く姿はかたご百合 神出娘は器量よし

伊達な男も一目ぼれ 神出音頭で

また惚れて 娘一人が なぜいとし

ソレ 一目惚れ ハアー 一目惚れ 一目惚れ

三 ハアー 神出男の子は歌が好き 働き者で度胸良く

涙もろいが玉に傷 飲んで歌ってそれ踊れ

神出音頭でもう一杯 共に歌およ 夜明けまで

ソレ夜明けまで ハア夜明けまで 夜明けまで

四 ハアー 神出よいとこ 俺が町 生まれ育って

住み慣れて 親子代だい すこやかに

今日も笑顔で町の衆 神出音頭で 朗らかに

ほんに神出はよきよ

ソレよきよ なる ハアよきよ なる よきよ